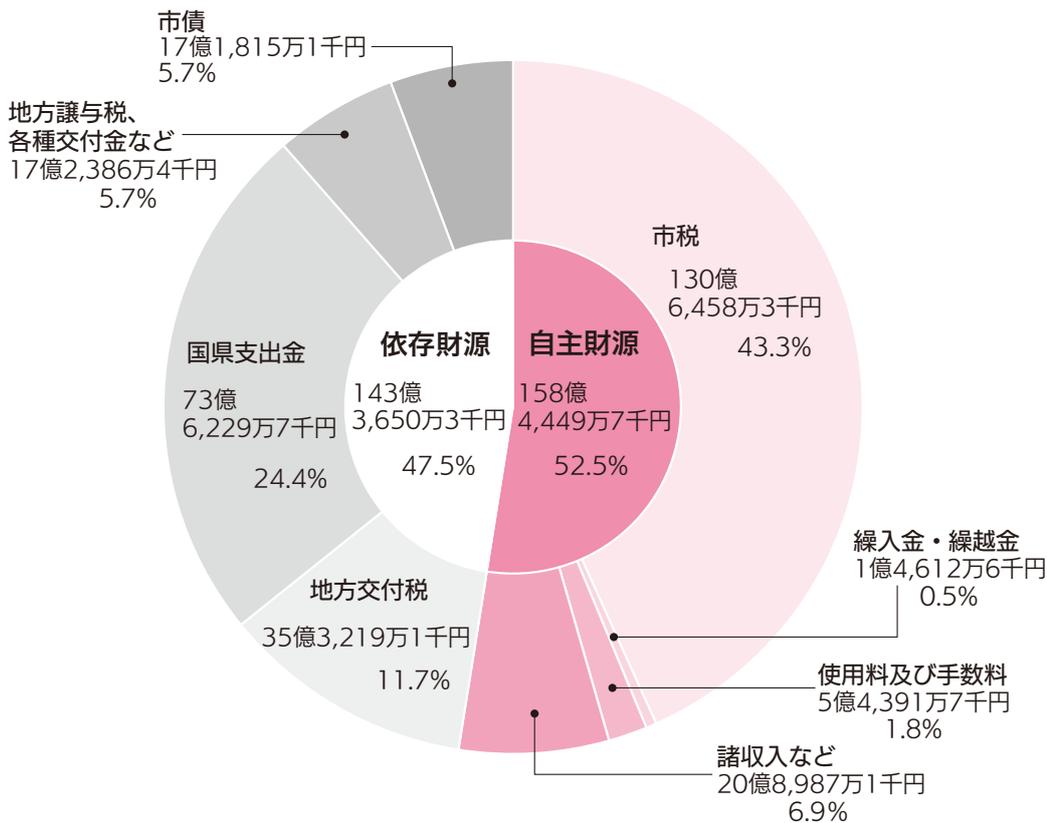


平成28年度予算については、第五次筑紫野市総合計画に沿った5つの政策を柱とし、社会保障費など市民の生活に直結する費用を増額しつつ、骨格となる経費について、行政運営の効率化を推し進めた予算編成としています。

この取り組みの結果として、一般会計については、対前年度比約6億9千万円減の301億8千1百万円を計上しています。

一般会計 **歳入** 301億8,100万円の内訳

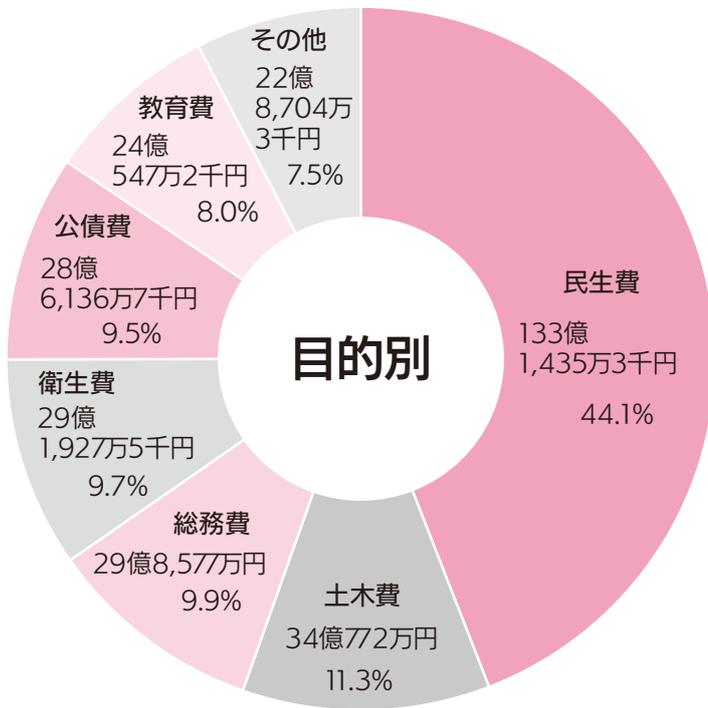


歳入については、市税は税制改正の影響などにより前年比横ばい、地方消費税交付金は増額が見込まれ、借入である市債については、約5億2千万円の減などとしています。

用語解説

- ▼ **自主財源** 市が自主的に調達できるお金
- ▼ **依存財源** 国や県からの交付金や銀行からの借入金
- ▼ **市税** 個人市民税、法人市民税、固定資産税など
- ▼ **繰入金・繰越金** 前年度からの繰越金や基金からの繰入金など
- ▼ **使用料及び手数料** 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
- ▼ **諸収入など** 発掘調査受託事業収入や保育料など
- ▼ **地方交付税** 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう、国が交付するお金
- ▼ **国庫支出金** 特定の事業のために国や県が交付するお金
- ▼ **地方譲与税、各種交付金など** 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
- ▼ **市債** 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

一般会計 **歳出** 301億8,100万円の内訳



歳出については、高齢化、障害者サービスの利用増などに伴う民生費約6億4千万円の増額、その他、引き続き取り組んでいます筑紫駅西口土地区画整理事業や筑紫地区まちづくり整備事業、公共施設等の老朽化に伴う改修工事などの予算を計上しています。

- ▼目的別歳出 市の歳出予算を、目的別に分類することで、行政サービスの水準や特色などを知ることができます
- ▼民生費 子どもや高齢者、障害者などの福祉の費用
- ▼土木費 道路や公園などの補修や建設などの費用
- ▼総務費 行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- ▼衛生費 健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- ▼公債費 市の借金の返済などの費用
- ▼教育費 教育や文化・スポーツなどの費用
- ▼その他 議会や農・商工業、消防などの費用

特別会計予算

(単位 千円)

会計名	予算額
国民健康保険事業	11,407,029
住宅新築資金等貸付事業	6,188
奨学資金貸与事業	10,446
介護保険事業	6,039,850
後期高齢者医療事業	2,121,823
農業集落排水事業	225,742
筑紫地区障害支援区分等審査会事業	12,054
二日市財産区	3,219
御笠財産区	11,607
平等寺山財産区	37,318
合計	19,875,276

特別会計については、国民健康保険特別会計の療養給付費や、介護保険事業特別会計の介護サービスの利用増により、特別会計の合計は、対前年度比約2億4千万円増の約198億8千万円を予算計上しています。

公営企業会計については、水道事業会計約26億7千万円、下水道事業会計約38億4千万円の予算額を計上しています。

公営企業会計予算

(単位 千円、消費税等込)

区分	水道事業		下水道事業	
	収入	支出	収入	支出
収益的収支	1,991,798	1,768,524	2,224,587	2,114,890
資本的収支	418,011	906,223	1,140,245	1,728,461
合計	2,409,809	2,674,747	3,364,832	3,843,351

平成28年度

重点施策

平成28年度施政方針に基づき、今年度も多くの事業を実施します。そのうち重点施策とその概要をお知らせします。(下線は新規事業)

重点施策1 行財政改革

- **ふるさと応援寄附金納付促進事業** 2,585万1千円
ふるさと応援寄附金の寄附者に対して謝礼品を送付することにより納付の促進と地場産品の活用に取り組みます。
- **コンビニエンスストア収納事務事業** 466万2千円
市税をコンビニエンスストアでも納めることができるようにすることにより、納税者の利便性向上に努めています。

重点施策2 産業・雇用をつくる

- **農業基盤整備促進事業** 2,250万円
戦略作物・地域振興作物の生産促進のため、農地の地下排水溝を整備します。
- **多面的機能支払交付金事業** 1,493万9千円
農村環境向上の効果が高い共同活動に取り組む組織に対して支援を行います。
- **空き店舗対策補助事業** 290万円
中心市街地の空き店舗で事業を行う事業者に対して家賃の一部を補助します。

重点施策3 生活を守る

- **急傾斜地崩壊対策事業** 5,000万円
土砂災害特別警戒区域に指定されている急傾斜地に崩壊防止措置を講じます。
- **河川改修事業** 1,510万円
県が実施する河川改修事業の市営河川への影響を検証し、事業計画を策定します。

- **第3次ちくしの男女共同参画プラン策定事業** 178万9千円
第3次男女共同参画プランを策定するための基礎データとなる市民意識調査を実施します。

- **カミーリヤ巡回福祉バス運営事業** 1,660万円

平成27年度に車両の追加、ルート見直しを行ったカミーリヤ巡回福祉バスの運行・管理、バス停の設置などを行います。



新しくなったカミーリヤバス



川幅調整のための護岸工事

- **地域密着型サービス拠点等施設整備費補助事業** 1億9,054万円
高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づき、介護施設の整備にかかる経費を補助します。

重点施策4 共助社会づくり

●二日市東コミュニティセンター建設事業
3億8,064万6千円

二日市東コミュニティセンターを建設します。
平成28年度開館予定です。



建築が進む、二日市東コミュニティセンター

●まちづくり支援事業
(平成27年度繰越分) 450万円
地域コミュニティ運営協議会を対象に、地域まちづくり計画の策定について支援を行います。

重点施策5 未来をつくる

●生活交通対策事業 3,603万6千円
交通の充実を図るため、地域公共交通会議の開催、バス運行の委託および補助を行います。

●拡大子ども医療費支給事業 2,392万円
福岡県公費医療制度の対象とならない子どもの通院・入院にかかる医療費の対象を、平成28年度から拡大して支給します。

●私立保育所運営委託事業 15億1,028万3千円
私立保育所における保育事業の委託料を支払います。保育所が新規開設されたことにより増額しています。

●筑紫駅西口土地区画整理事業 8億9,149万5千円

筑紫および若江の各一部の健全な市街地を形成することを目的とした土地区画整理事業を実施します。



宅地をつくっています

●橋りょう長寿命化促進事業 3,610万円

適切な維持補修を実施し、橋りょうの長寿命化を図ります。



橋りょうの調査と維持補修を計画的に実施しています

●コミュニティ・スクール推進事業 260万円
地域・家庭・学校の連携による学校運営を進めるコミュニティ・スクールの活動を推進します。

●県指定天然記念物「立明寺のタブノキ」保存事業 79万7千円

県指定天然記念物「立明寺のタブノキ」の落枝防止のため消毒、剪定を行います。



立明寺のタブノキ

教えてつくしちゃん!

今年ことしのよ予算さん

市のお金の使い道ランキング

順位	費目	内容	予算額
1位	民生費	子どもや高齢者、障害者などの福祉に	133億1,435万3千円
2位	土木費	道路や公園などの補修や建設に	34億 772万円
3位	総務費	行政の運営や戸籍、税金徴収などに	29億8,577万円
4位	衛生費	健康診断や予防接種、ごみ処理に	29億1,927万5千円
5位	公債費	市の借金の返済に	28億6,136万7千円
6位	教育費	教育や文化・スポーツなどに	24億 547万2千円
7位	その他	議会や農・商工業、消防などに	22億8,704万3千円

1位は民生費です。

行政運営の効率化を図りながらも、民生費は前年度比で約6億4千万円の増額としています。

市が、保育所運営などの子どもに関わる事業や障害者、高齢者などの福祉の充実に一番多くのお金を使おうとしていることが分かります。



つくしちゃんの家計簿

筑紫野市の予算をより身近に感じてもらうために家計簿に当てはめてみました。平成26年分民間給与実態統計調査における平均給与を基準にして、給与がひと月35万円の家計に例えてみました。

収入

給与	35万円
基本給(市税)	18万円
諸手当(国・県からの補助金交付金など)	17万円
パート収入 (使用料、手数料、諸収入など)	3万円
預貯金の取り崩し(繰入金・繰越金)	1万円
借金(市債)	2万円
合計	41万円

支出

食費(人件費)	6万円
医療費(扶助費)	12万円
公共料金・日用品(物件費)	5万円
子どもたちへの仕送り(補助費等・繰出金)	9万円
家や車、家具の修繕など (普通建設事業費・災害復旧事業費等)	4万円
貯金への積立など (貸付金、積立金、投資及び出資金)	1万円
ローン返済(公債費)	4万円
合計	41万円



今年の家計簿を見ると、支出については、昨年と比べ医療費は増えていますが、食費、公共料金・日用品については節約を行ったため減っています。

収入については、昨年と比べ基本給はほぼ横ばいとなっていますが、会社(国)の事情により諸手当が減っています。預貯金の取り崩しや借金については将来を見据え最低限としており昨年と比べると減っています。